

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用					
	公表日： 31年 3月 27日			事業所名：わかば	
区分	チェック項目	現状評価（実施状況・工夫点等）	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
体制	1	利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	確保している	私が見ている時は、人数が4名～6名なので良いと思います。10名だとどうか分からない。	
	2	職員の適切な配置	配置している	・数は適切。専門性については把握できていない。 ・毎回何名の職員がいるのかわからないから。	言語聴覚士を配置し助言ができるよう改善した。
	3	本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	利用者に応じて絵カードや写真入りカードにより視覚的な配慮を実施している。室内やトイレには段差をなくしている。	本人が片付けやロッカーなどわかっているのであれば、本人にわかりやすい環境なのだと思います。	
	4	清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	作業机や個別机を設置し各利用者向けに対応していく。製作で季節に応じたものを作成し装飾している。	・とても綺麗な環境で玩具がたくさんあると感じました。 ・親子イベントの時に見た感じだと清潔だなと思いました。	
業務改善	1	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）への職員の積極的な参画	個別支援計画の作成とモニタリングの実施、また、利用者の情報共有を図る時間を設けている。		
	2	第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	未実施		実施に向け検討していく。
	3	職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	実施している		
支援	1	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	契約時、その後は年2回、保護者と面談を行い、アセスメント、計画の作成をしている。		
	2	子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	契約時、その後は年2回、保護者と面談を行い、アセスメント、計画の作成をしている。	計画は考えられていました。良かったと思います。	
	3	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	家族や本人のニーズ及びアセスメントにより解決すべき課題や強みを家族と相談し項目として設定し、実現できるよう具体的に支援内容を記載。		
提供	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	会議で支援の進捗状況を確認し、必要に応じて支援方法を改善し適切に支援が実施できるようにしている。	どのように子供が過ごしているか写真を送ってもらえるとうわかりやすいと思います。	写真等は活動が分かり易いように定期的に保護者に渡すように改善した。
	5	チーム全体での活動プログラムの立案	月1回の会議でプログラムの立案を行っている。		
	6	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	平日、休日、長期休暇に対応し支援している。	工作など見ても工夫されていると思っています。	
	7	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	月1回の会議でプログラムの立案を行っている。		
	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	基本的には職員間で支援内容や役割分担の確認を行っているが、時間を設ける事が困難な日もある。		
	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	緊急的な事柄についてはその日のうちに情報共有を図るようにしているが、基本的には翌日のミーティング時に情報共有している。		
	10	日々の支援に関しての正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	利用時の様子や支援内容、家族からの連絡事項など連絡ノートへ毎日記入し、月1回のミーティングには個別支援計画の進捗状況の確認や支援の検証を行っている。		
	11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	年2回モニタリングと計画の見直し、年1回の支援計画立案を行っている。		
	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議へ参画	必要に応じサービス担当者会議へ参画している。		
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施			
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備			
4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校（小学部）等との間での支援内容等の十分な情報共有	情報共有を行う場合はあるが十分ではない。			
5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供、	放課後デイサービスや学校への情報提供を行っている。			
6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	専門的関係機関との連携や研修受講の促進を行っている。			
7	児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	交流機会はまだ持っていない。			
8	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	地域住民を招待したことはない。			
説明	1	支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	面談やモニタリング時に説明している。	最初に詳しく説明してもらった。	
	2	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	面談やモニタリング時に説明している。	最初に詳しく説明してもらった。	
	3	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	未実施		実施に向け検討していく。
	4	子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	連絡ノートや送迎時に情報を伝えている。	毎日の事は連絡帳でも口頭でも聞いて分かっています。	
	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	電話や送迎時に対応している。	懇談会での話をもっと回数があっても良いと思う。	懇談会の頻度について今後検討していく。
	6	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	親子参加のイベント等を実施している。	・もう少し子供との活動を増やしてほしい。 ・保護者同士は前回の親子イベントで初めて会ったからまだわからない。	今後の父母会の交流についても考え、日程調整を行っていく。
	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	苦情があった場合の体制は整えている。		
	8	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	連絡ノートや送迎時に保護者への連絡等行える。		
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	毎月お便りを発行している。		
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	配慮して対応している。		
特等の	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	マニュアルの策定をし保護者へ配布している。		
	2	非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	月1回避難訓練を実施している。		
	3	虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	年2回は虐待防止研修の機会を確保している。		
	4	やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明し、了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	現在身体拘束を必要とする利用者はいない。		
	5	食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	現在必要な利用者はいないが、食物アレルギーの利用者には医師の指示書に基づき対応する。		
	6	ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	年に1回事業所内でグループワーク研修を実施予定である。（5月）		